

認知症に関する活動報告・計画（概要）

【渉外部】

- 自治体・関連団体との連絡調整、人材の選出・派遣・推薦を実施（認知症初期集中支援チームへの参加、会議傍聴）。

【事業部】

- 仙台市、大河原町の認知症カフェ、初期集中支援等に参画。

【部局連携室】

- 自治体・士会各部からの活動報告を収集・整理し、認知症関連事業への参画を連携・調整。

世界アルツハイマー・デーでのイベント企画

なし

認知症初期集中支援事業への参画

【仙台市】

- 各区（5区）に認知症初期集中支援チームが設置されている。
- 若林区：包括からの依頼時に自宅訪問し、心身機能・ADL・IADL・環境を評価、本人との関係づくりや家族・支援者からの情報収集を行い、年4回のチーム員会議で事例検討を行っている。
- 太白区：今年度からチーム員で会議の傍聴を開始し、初期集中支援に関心のある会員の学びと仲間づくりにつなげる。

【大河原町】

- 地域包括支援センターから依頼を受け、初期集中支援の対象者への同行訪問を行っている。
- 生活状況・心身機能等を評価してチーム員会議へ接続。認知症サポート医の助言を得て医療・介護支援につなげ、訪問後の経過も包括主催会議で報告。
- 包括主催の事例報告を行い、地域での早期相談から医療・専門職への支援につなげる役割も担っている。

認知症カフェ事業への参画

【仙台市】

- 毎月第2土曜13時30分～15時、みやぎ生協太子堂店集会室で開催。宮城県作業療法士会と仙台市薬剤師会が共催し、仙台市認知症初期集中支援チーム員看護師もボランティア参加。
- 一般参加者は毎月10名前後。市ホームページ、店舗・市営住宅へのチラシ掲示、地域包括支援センターへの送付で周知し、新規参加者は年間約10名。
- 講話、ゲーム、カラオケ、ボッチャ、フラダンス等を通じ、参加者同士の語らいとつながりを支援。

【大河原町】

- 地域包括支援センター運営の月曜・木曜・土曜うめカフェに参画。
- 専門職やボランティアと連携し、手工芸、ミニ講話、軽体操、音楽会、料理、認知症サポーター養成講座、レクリエーション等を柔軟に実施。
- 参加者は5～20名程度。認知症・介護相談、必要時のMMSE等の評価、関係機関・初期集中支援チームへの接続にも対応。Instagram（#うめカフェ）で活動を発信。

その他の認知症関連活動

【仙台市】

- 「認知症の本人・家族・地域の方の声を聴くシート」を令和6年より作成、約1,300件の「声」が集められた。
- 令和7年度より、ワーキンググループを設置しメンバーに作業療法士が参入し、認知バリアの解消に向けたアイデアを出し合う作業を行った。
- 今年度は、認知症パートナー講座や仙台市版チームオレンジ、認知症カフェなどの事業に活かせるようなツール作成に取り組む予定。

【多賀城市】

- 小中学校6校でジュニアサポーター養成講座を開催している。クイズやイラスト、動画にて認知症を知り、認知症の人への接し方について学べるような内容で実施している。
- 令和8年度は、市内小学校3校、中学校3校で開催予定。

【大河原町】

- 認知症セミナー・本人、家族の一体的支援に参画している。